

中区制100周年

笑顔、笑顔、笑顔の写真

きょうから記念事業 区役所に650人分

中区の区制施行100周年を記念する事業「Merry in NAKAKU」がきょう1日始まる。

中区民や中区を愛する人たちの笑顔の写真が街を埋め尽くす。

区役所の玄関では、今年100歳を迎える中区丸の内伊藤正雄さんの笑顔が縦3・5層、横2・5層の特大フィルムに収まっている。ホールでは650人が

並んで壁一面の笑顔で出迎えている。

写真は昨年の秋から、同区出身のアートディレクター水谷孝次さん(57)が撮りためた。水谷さんは「この場に來たら思わず笑みがこぼれてしまうような空気で包みたい」と意気込む。

笑顔の写真は、テレビ塔や区内4つの百貨店、大須商店街などでも順次、巨大垂れ幕などで掲げられ、街

全体が同区100歳の誕生日を祝う笑顔に包まれる。もっとも大きいものはテレビ

ビ塔に飾られる縦24層、横約5層。一部を除いて5月6日まで掲示される。

4月27日に中京大学文化市民会館で記念式典が行われるほか、10月5日には久屋大通公園で「中区100年祭」が開催されるなど、1年を通じて様々な記念行事が予定されている。



650人の笑顔が迎える中区役所